

2026年2月10日

組織運営体制の変更について（2026年4月1日付） ～二輪・四輪・パワープロダクツ事業のさらなる競争力向上を目指して～

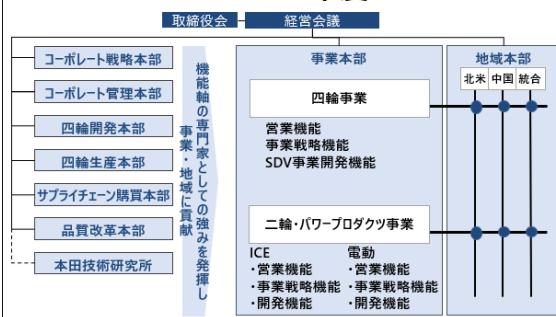
Honda は、モビリティを通じて世界中に自由な移動の喜びをサステナブルに提供していくために2026年4月に組織運営体制の変更を行います。

2020年に「既存事業の盤石化」と「将来の成長に向けた仕込み」を加速させることを目的に量産開発と将来研究の領域を分離し、それぞれが自ら役割に専念できる体制へと転換しました。この取り組みは、確かな成果を生み、事業貢献と技術競争力を高めてきたと認識しています。この強みを引き続き伸ばしながら、グローバルでの事業環境が想定以上のスピードで変化する中で、市場・技術動向をこれまで以上に的確にとらえ、独自技術や新しい価値を最適なタイミングで市場に届けられるよう、四輪開発本部ならびに四輪事業本部の組織運営体制の変更を行います。また、二輪・パワープロダクツ事業につきましても、さらなる成長のために組織運営体制を変更します。

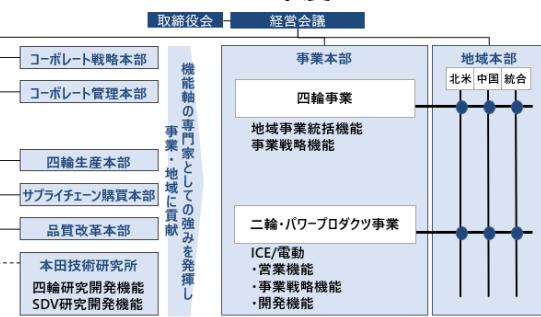
【2025年度→2026年度の主な変更点】

- ①四輪研究開発機能の本田技術研究所への統合
- ②四輪事業本部の組織再編
- ③二輪・パワープロダクツ事業本部の組織再編

<2025年度>



<2026年度>



<具体的な変更内容>

① 四輪研究開発機能の本田技術研究所への統合

四輪開発本部と、四輪事業本部にある SDV 事業開発統括部の研究開発機能を、Honda の研究開発子会社である株式会社本田技術研究所へ移管します。これまで量産開発と将来研究の領域を分離し、それぞれ自らの役割に専念できる体制としていましたが、商品力強化のために、技術テーマの選択から商品投入までを一体で捉え、一気通貫でスピーディーに環境変化に対応できる体制へと変更します。これにより、魅力ある商品を生み出し続けることができる研究開発組織へと進化させ、さらなる競争力の向上を図ります。

② 四輪事業本部の組織再編

四輪事業戦略統括部と営業統括部を再編し「事業戦略統括部」と「地域事業統括部」を設置します。また、SDV 事業開発統括部の事業機能を事業戦略統括部に再編し、SDV 事業開発統括部を発展的に解消します。四輪事業における収益性の早期改善に向けて、市場構造や顧客ニーズを踏まえた企画・販売力の強化と、中長期視点での商品競争力の向上を図ります。

③ 二輪・パワープロダクト事業本部の組織再編

二輪・パワープロダクト事業の電動化戦略が実行段階へ移行したことを受け、これまで電動事業と ICE 事業に分けていた営業・事業戦略・開発機能をそれぞれ統合します。電動事業と ICE 事業を一体で運営することでリソースを最適配分し、カーボンニュートラルへの取り組みを継続するとともに、さらに競争力のある商品を継続的に生み出すことを目指します。

電動化と新たな価値創造を通じた一連の企業変革をより一層加速させ、電動化・知能化時代においてもこれまで以上に際立った「存在を期待される企業」を目指していきます。